

2021年10月29日

一般社団法人 日本自動車工業会

一般社団法人 日本自動車車体工業会

商用車架装物リサイクルに関する自主取組みの進捗状況について

本取組みは両工業会共同で2002年11月以降実施してきたものである。活動概要は以下のとおり

1. リサイクル設計の推進 : (1) 車体メーカー各社にて製品展開拡大中
(2) 易解体性向上・解体マニュアル充実のため平ボデー、バン型車解体実験を実施
設計への反映、解体マニュアル記載内容見直しを推進
(3) 環境基準適合ラベルの貼付目標 80%達成済み(2020年度 91.4%)
2. 重金属4物質の使用削減 : 鉛、六価クロム、水銀、カドミウムの4物質すべて目標達成を継続
3. リサイクル・適正処理の推進 : 協力事業者制度継続中。LiB 情報も追加し情報充実
4. 情報提供、啓発活動の推進 : 関連事業者との情報交換、協力事業者情報の車工会 HP 掲載継続。解体作業見学会、シャシー・架装物工場見学会は2020年度はコロナ禍のため中止

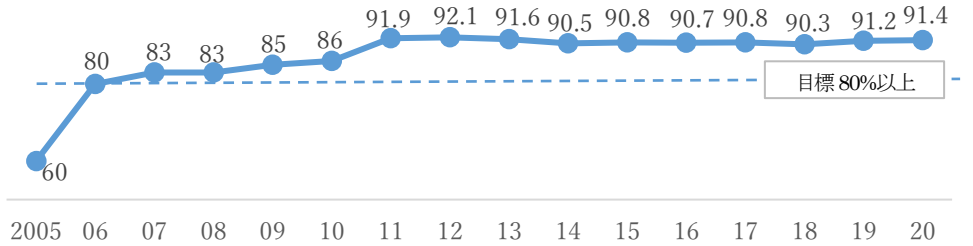
自主取組みの内容	進捗状況																																		
<p>1. リサイクル設計の推進</p> <p>(1) 易解体性向上および適正処理の推進 [目標: 易解体性バンの試作、製品展開]</p>	<p>①各社にて各種易解体性バンの開発、製品化を展開中</p> <p>②易解体性バンは 2020年度車工会会員バン生産の91.6%(63,979台)</p> <p>③解体業者団体と連携して平ボデー、バン型車等の解体作業見学会を実施。解体時間短縮のための課題を抽出、製品に反映し架装メーカー各社にフィードバック</p> <p><車工会会員生産バンに占める易解体性バンの比率(%)></p> <table border="1"> <caption><車工会会員生産バンに占める易解体性バンの比率(%)></caption> <tr><th>年</th><td>2005</td><td>06</td><td>07</td><td>08</td><td>09</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><th>比率(%)</th><td>70</td><td>71</td><td>87</td><td>87</td><td>89</td><td>91</td><td>90.7</td><td>91.0</td><td>89.8</td><td>90.4</td><td>90.7</td><td>90.6</td><td>90.7</td><td>90.4</td><td>91.4</td><td>91.6</td></tr> </table>	年	2005	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	比率(%)	70	71	87	87	89	91	90.7	91.0	89.8	90.4	90.7	90.6	90.7	90.4	91.4	91.6
年	2005	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20																			
比率(%)	70	71	87	87	89	91	90.7	91.0	89.8	90.4	90.7	90.6	90.7	90.4	91.4	91.6																			
<p>(2) 解体マニュアル作成 [目標: 主要3機種の大半をカバー]</p>	<p>①解体事業者等から要望のあった、主要3機種(レントゲン車、冷蔵・冷凍バン、タンクローリ)の解体マニュアル対応完了 (特装車製品など新規作成)</p> <p>②車工会会員各社ホームページにて公開中 累計公開232件(対前年+15件)</p> <p><累計解体マニュアル公開件数(件)></p> <table border="1"> <caption><累計解体マニュアル公開件数(件)></caption> <tr><th>年</th><td>2008</td><td>09</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><th>件数</th><td>128</td><td>131</td><td>133</td><td>137</td><td>140</td><td>143</td><td>161</td><td>170</td><td>177</td><td>192</td><td>201</td><td>217</td><td>232</td></tr> </table>	年	2008	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	件数	128	131	133	137	140	143	161	170	177	192	201	217	232						
年	2008	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20																						
件数	128	131	133	137	140	143	161	170	177	192	201	217	232																						
<p>「帆ウイングボデー 解体マニュアルの例」</p>	<p>③解体事業者団体と連携、解体作業見学会を通じて得た作業実態をマニュアルへ反映</p> <p>解体作業手順 記載例</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サイドガード、フェンダー、泥除け等の艀装品を取り外します。 ②車幅灯、車高灯・庫内灯・路肩灯等の電装品を取り外します。 ③Uボルト、連結ボルト・ブレース等の連結金具を取り外します。 ④クレーン等を使用してボデーをシャシーから取り外します。 																																		

(3) 環境基準適合ラベルの設定
〔目標: 車工会会員生産車の80%に貼付〕

〈 環境基準適合ラベルの要件 〉

- ① 3R判断基準ガイドラインの作成
- ② 解体マニュアルの作成・公開
- ③ 製造業者名の表示
- ④ 樹脂部品材料名の表示

・2004年3月、環境基準適合ラベルの要件を設定。2005年度以降は**目標80%を達成中**



バン型車の表示例



※2016年1月より、環境基準適合ラベルは、環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録、掲載中

2. 重金属4物質の使用削減

- (1) 鉛
〔目標: 使用量 2002年度 60g/台 →2006年度 30g/台に半減〕
- (2) 水銀
〔目標: 2005年1月以降使用禁止(照明装置等を除く)〕
- (3) 六価クロム
〔目標: 2008年1月以降使用禁止〕
- (4) カドミウム
〔目標: 2007年1月以降使用禁止〕

2005年度より目標達成を継続

〈鉛フリー化の事例〉ダンプ、タンクローリ等の電着塗料への切替

2004年末より目標達成を継続

〈水銀フリー化の事例〉高所作業車の水平保持用のスイッチ

2007年末より目標達成を継続

〈六価クロムフリー化の事例〉金具類(例: 蝶番、ボルト、ナット、油圧ホースガードワイヤ)

2006年末より目標達成を継続

〈カドミウムフリー化の事例〉マーカーランプ、タンクローリ自動開閉装置の温度ヒューズ

⇒毎年重金属4物質の目標達成が継続されているかフォローアップ活動を実施中

3. リサイクル・適正処理の推進

- (1) 協力事業者制度の構築と拡充
〔目標: 制度への登録拡充と各ブロックへの適正配置〕

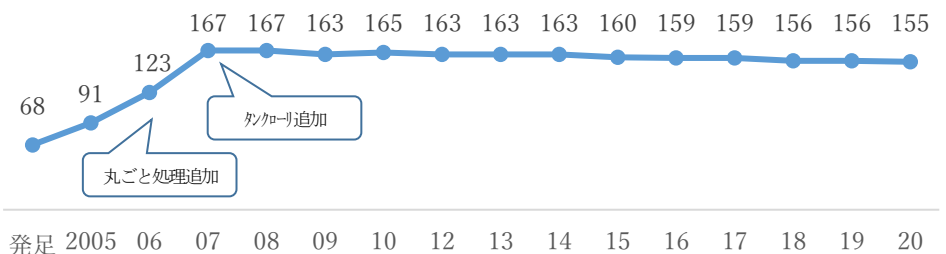
車工会ホームページ掲載



① 協力事業者について、全国各ブロックへの適正配置を継続

② 解体事業者の要望をふまえて丸ごと処理事業者ならびにタンクローリ残液の分析・処理・洗浄事業者も維持。2020年度はLiB情報も追加調査

〈協力事業者参加事業者数〉



4. 情報提供、啓発活動の推進

(1) 協力事業者情報をメンテナンスし車工会HPへ掲載、2021年4月から下記追加
・LiB情報を追加掲載
・事業者情報一覧表リストをHPからダウンロード可能とし利便性向上

2) 解体事業者への情報提供

従来実施の解体事業者団体等と作業現場の見学会・意見交換、及び、解体事業者団体へのシャシー・架装物工場見学会とも、2020年度はコロナ禍のため中止。2021年度の取組みを検討中